

2018年8月13日

三鍋敏郎

篠原ドライブインに車を止め登山準備をしていると、大型タクシーがやって来た。5人が乗り込み市橋登山口まで走る。料金は1950円であった。

暫くは農地跡の林道を歩く。当時は灌漑用水が満々と流れ、畑を手入れする人たちと朝の挨拶を交わしながら歩いたが、近年畑は放置され荒れ果て夏草が生い茂っている。

林道を南に進むとやがて細い登山道となる。右手からの小さな谷が何度か合流し、しばらく進むと本流と合流する。何度か渡渉を繰り返すと赤岩の滝に出会う。大量の水が流れ落ちて涼しい。この滝の左岸にはヤマグルマの大木がある。別名トリモチノキと呼ばれ、良質の鳥餅が出来る。

堰堤をいくつか超え、谷の両サイドがV字に迫る辺りの左岸の岩壁にイワタバコの群生がある。毎回この花を目指してこの沢を登るのだが・・・遠目では花が無いように思い落胆気味に近づくと咲き始めたばかりの、蕾をいっぱいにつけたイワタバコのかわいい紫の花。有難い。今年の夏は殆どの山野草が早咲きで困惑していたのだが。

谷が終わるとブナ林の急登になる。汗が滴るように地面に落ちる。あえぎながら登りきると、爽やかなブナ林の尾根に出る。ここで大休止のランチタイム。

食事後、尾根を少し下り岩籠山に向かう。この辺りもブナ林の涼しい道が続いている。草地が現れると左手に山頂に向かう登山道がある。少し登ると明るい岩籠山山頂に到着する。展望は360度。眼下に敦賀湾。後ろに琵琶湖が見える。野坂岳の雄姿も蒼い。これから行くインデアン平原も間近に見える。ヒョウモン蝶がつかいで飛んでいる。恋の季節なのだ。

ススキの中を歩いてインデアン平原の岩の上に乗る。爽やかな風が吹き抜ける快適な天空広場である。敦賀湾が良く見える。コメツツジの白い残り花。

心地よく去りがたい気持ちだが、そんな気持ちを無理矢理引きはがして下山にかかる。分岐まで引き返し、コル迄急斜面を下る。コルから風景は一転しブナの美林帯に突入する。快適な涼しい樹林帯を歩く。遅れがちなメンバーの荷物を纏めて担ぐ。

P677m手前で進行方向が東向きに変わる。標高差50mも下ると痩せ尾根となるが殆どが自然林に囲まれ直射日光はあたらないのでそれほど暑くはない。三角点のある小ピークを過ぎるとドライブインは近い、国道を走る自動車の音や沢の音を聞きながら只管下ると朝車を置いた篠原ドライブインに到着する。

★メンバー三鍋ほか4名 ★コース市橋登山口 9:25～尾根 11:36 発 12:06～岩籠山 12:32 発 39～インデアン平原 12:48 発 55～奥野山 361.78m 14:36～篠原ドライブイン 14:58

